

令和6年度 第1回東淀川区区政会議 安全・安心・まちづくり部会 会議録

1 日 時 令和6年7月31日（水）午後7時から午後9時

2 場 所 東淀川区役所3階 区民ホール（Web併用）

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 安全・安心・まちづくり部会委員）

宇田 聖司議長、萩原 昭広副議長（Web参加）、生島 靖委員、梅田 純子委員、
清水 俊明委員、高倉 敏夫委員、高月 正人委員、長井 健委員、仲宗根 慎也委員、

（東淀川区区政会議 教育・健康・福祉部会委員）

上原 雅子委員、田原 佳織委員、中西 みゆき委員、光本 陽子委員、

（東淀川区選出市会議員）

石川 博紀議員、森 慶吾議員

（大阪府議会議員）

横道 淳子議員、笹川 理議員

（東淀川区役所）

古川地域課長、大橋安心安全企画担当課長、中野企画調整課長、船倉保険年金担当課長、
奥野総務課課長、宮本総合企画担当課長、山本地域課担当係長

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）令和6年度東淀川区運営方針（自己評価）について

（2）その他

5 議事内容（発言者名及び個々の発言内容）

○山本係長 それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和6年度東淀川区区政会議第1回安全・安心・まちづくり部会を開会いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、また夜間にもかかわらずご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

本日、司会を務めさせていただきます東淀川区役所地域課の山本と申します。よろしく願いします。

本日はオンライン会議も併用しての開催になります。WEBで参加の萩原委員、聞こえておりますでしょうか。

○萩原委員 萩原です。聞こえております。よろしくお願いします。

○山本係長 ありがとうございます。

萩原委員にお願いがあります。カメラとマイク機能は、ご自身が発言される時以外は常時オフにさせていただきますようお願いいたします。

また、後ほどご出席の確認をさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本日の部会は21時までの予定としておりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、まず初めに地域課長の古川よりご挨拶をさせていただきます。

○古川課長 皆さん、こんばんは。区役所地域課の古川です。いつもお世話になっております。

本日はお忙しい中、安全・安心・まちづくり部会にご出席をいただきましてありがとうございます。毎日暑い日が続きますけれども、熱中症にはくれぐれもご注意くださいのと、今、大阪市でもまたコロナの感染者数が多くなってきておりますので、換気ですとか手洗い、うがい等基本的な感染対策をしていただいで、暑い夏を乗り切っていただけたらなと思いますので、よろしくお願いいたします。

本日は、令和5年度の運営方針自己評価につきまして区役所からの説明と委員の皆様のご意見をいただく予定です。途中、部会を休会しましてワークショップの時間を取らせていただきます。昨日の教育・健康・福祉部会に引き続きご出席いただいている委員の皆様もいらっしゃるかと思いますが、活発なご議論ができますよう円滑な進行に努めてまいりますので、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

○山本係長 続きまして、本日ご出席の市会議員、府議会議員のご紹介をさせていただきます。

市会議員の石川議員。

○石川議員 自民党の石川博紀です。どうぞよろしくお願いします。

○山本係長 同じく市会議員の森議員。

○森議員 公明党の森慶吾です。よろしくお願いいたします。

○山本係長 府議会議員の横道議員です。

○横道議員 公明党の府議会議員の横道淳子と申します。本日はよろしくお願いいたします。

○山本係長 議員の皆様には、条例の規定によりまして、区政会議に出席して必要な助言をすることができるかとされておりますので、よろしくお願いいたします。

ここで本日の定足数の確認をいたします。

本日は会場に8名の所属委員にご出席いただいております。WEBで参加されておられる委員の出席を確認いたしますので、お名前をお呼びいたしますのでお返事いただけますでしょうか。

萩原委員、聞こえていますでしょうか。

○萩原委員 はい、萩原です。よろしくお願いします。

○山本係長 ありがとうございます。

本日の会議は、本会場にて8名、WEBにより1名、合わせて9名の所属委員にご出席していただいております。出席数が委員定数18名の半数以上でありますので、この会は有効に成立していることをご報告いたします。

また、他部会より2名の委員がご出席されております。

本日の会議の様子につきましては、会議録を後日公表するとともに、写真を撮影しホームページなどに掲載させていただくこともございますので、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。また、会議録（案）ができましたら本日ご発言いただきました委員の皆様にご発言内容をご確認いただく予定ですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、本日配付しております議事次第、配席図はございますでしょうか。あと、すみません、配席図ですけれども、急遽WEBの参加になられた萩原委員でありますとか、あと予定を調整していただいて本日ご参加いただけた方のお名前を載せられておりませんので、申し添えさせていただきます。

続きまして、既にお送りしております資料1、令和5年度東淀川区運営方針自己評価（概要版）、資料2、ワークショップ用のシート、資料の3、部会別委員名簿、資料の4、令和6年度東淀川区区政会議スケジュール（予定）及び第20回困サポ連絡会のチラシのほうはお持ちでしょうか。

また、同封させていただいております資料4、区政会議委員アンケート、本日お持ちいただいている方は、会議終了後、会場出口で回収させていただきますので、よろしくお願いいたします。

白紙のアンケートも用意しておりますので、お手元にはない方はアンケートに記入して8月21日の本会のおきにお持ちいただければと思います。よろしくお願いいたします。

また、当日資料としまして令和6年度区政会議スケジュール（案）というものを一番後ろにつけておりましたが、ないという方、いらっしゃらないですね。

そうしましたら、総合企画担当課長の宮本より区政会議のスケジュールについて説明いたします。

○宮本課長 総合企画担当課長、宮本です。

私から、当部会がどのような位置づけになっているかというのを再度確認させていただく意味でちょっとご説明させていただきます。

令和6年度区政会議スケジュール（案）という、こちらの資料をご覧くださいませしょう

か。こちらについて簡単に説明させていただきます。

一番下の段が区政会議になるんですけれども、今回はその一番左側になります。ここでいただいたご意見を受けて、サマーレビューというもので利用します。このサマーレビュー、聞き慣れない言葉だと思うんですけれども、こちらにつきましては区役所の中で各担当の懸案事項の現状ですとか課題、そして意見途中の審議事項等について共有して、今後の統一した方針を協議する会議であるという位置づけを書いております。これをもって、一番上の欄、予算のところに行くんですけれども、予算のところから、実はもう来年度予算については区の中の締切りというのが9月の末日ぐらいに締切りなんです。そこから財政局という予算を仕切っている部局に行って予算の案を公表して、それで市会で議論していくというような流れになっていきますので、今回の区政会議というのはかなり来年度予算に向けては重要な位置づけとなる会議になります。

その後、運営方針を何回か詳細にブラッシュアップしていただくというような流れに向けて、予算と併せて運営方針というものを整理させていただく。この中で皆さんのご意見をいただきながらブラッシュアップできればということで区政会議を進めていければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

私からは以上です。

それでは、宇田議長、よろしくお願いいたします。

○宇田議長 議長の宇田です。本日、よろしくお願いいたします。

まず初めに、本日の議会の流れについて簡単にご説明します。

まず、左にあります議題、令和5年度東淀川区運営方針自己評価について区役所から説明させていただきます。説明が終わりましたら全体を通して委員の皆さんからご意見をいただき、内容によって、より活発に議論していただくために、区役所からの説明の後には一旦部会を休会し、2グループに分かれてワークショップによる意見交換をしていただきます。部会再開後に各グループで出た意見を発表していただき、区役所からお答えをいただくという流れを進めたいと思いますので、それでは区役所からの説明をよろしくお願いいたします。

○古川課長 地域課長の古川です。すみませんが座って説明をさせていただきたいと思います。

お手元の資料1、令和5年度東淀川区運営方針自己評価、この資料に沿いまして説明をさせていただきます。

私からは、経営課題1-1と1-2について説明させていただきます。

資料を1枚めくっていただきましたページ番号1、経営課題1-1、地域活動協議会による自律的な地域運営の促進をご覧ください。

記載のとおり、取組の実績といたしましては、地域実情に応じたきめ細やかな支援と地域活動協議会の認知度向上に向けた支援を行ってまいりました。

アウトカム指標は、地域活動協議会の構成団体が地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合としておりまして、令和5年度末までに90%以上としておりました。結果は、実績としましては89.5%と少し及ばずで、未達成となっております。

自己評価といたしましては、地活協の自律的な地域運営が進んだ地域がある一方で、地活協の体制自体に不安を抱える地域がございます。地活協の認知度につきましても、5年度の区民アンケートの結果は37.2%にとどまっておりますけれども、アウトカム指標としましては、平年推移を見ますと目標値に少しずつですが近づいております、一定、取組の成果に結びついているのではないかと考えております。

引き続き、地域課職員、地域づくりアドバイザーによりまして、各地域の特性や実情に寄り添った支援を継続してまいりたいと考えております。

続きまして、資料2ページをご覧ください。

経営課題1-2、にぎわいのある元気なまちについてでございます。

取組の実績といたしましては、記載のとおり、区民まつりをはじめ、組織や立場を越えて意見交換や情報共有を行う場づくりとして東淀川みらいEXPOの開催などに取り組んでまいりました。

次に、右側になりますけれども、アウトカム指標は、区民アンケートで「東淀川区は様々な魅力を活かし、多様な主体が連携したまちだと感じる」と回答する人の割合で令和8年度末までに50%以上と設定していましたが、結果は25.3%と未達成でございました。

自己評価といたしましては、取組に参加いただいた皆様、区民まつりですとかみらいEXPOに参加いただいた皆様にアンケートをしたところ、様々な活動主体が連携できていると高い評価をいただいておりますが、区民アンケートとなると数値はお示しのとおりとなっておりますので、各種団体等が連携・交流することができる場づくりの強化と地域力の向上のため、より多様な主体による協働の取組を進める必要があると認識しております。

引き続き、新たな担い手の発掘や気軽に人が集える居場所づくりに対する支援のほか、ICTを積極的に活用し、地域活性化の土台をつくり、にぎわいのある元気なまちを目指してまいりたいと思っております。

私からは以上です。

○中野課長 企画調整担当課長の中野と申します。よろしく申し上げます。着席にて説明させていただきます。

私からは、3ページ目でございます。課題1-3、区民による西部地域のまちづくりについてお話をさせていただきます。

具体的取組、左側でございますけれども、まず区民による西部地域のまちづくり、こちら、

今後大きな開発プロジェクトなんかによりまして区の西部地域が大きくまちづくりが変化していくということで、地域の皆様方に参画いただきましてまちづくりの協議会、その協議の下にまちづくりの部会、それから特に新大阪駅東口につきましては部会を設けて活動してございます。具体には、その地域の方々が主体にワークショップを開催していくとともに、その地域の課題解決に向けたアクションプランという行動計画の作成をしていただいております、区役所としましてはその支援を行ってまいりました。

こちらは、アウトカム指標を設定しております、一つが区西部地域8地域のアクションプランの作成、それからPDCAサイクルの実施ということで、今現在、ちょっと実績が、数字の変化が8地域ということなんですけれども、検討自体は順調に進んでおります、「達成」というかたちで表記させていただいております。

もう一つの指標は、新大阪駅東口のまちづくりビジョンに基づく土地活用ということで、令和8年度までに2件以上実施ということで、こちらの検討でございますが、昨年度、新大阪駅東口まちづくりビジョン、これはまちづくりの基本的な方向性をまとめたものでございますが、これを策定いたしました。これはちょっと大きな進捗であると考えております、こちらも達成というふうなことにしております。

もう一つの取組でございます。左側に戻っていただきまして、もと西淡路小学校にかかる活用方策策定でございます。こちらにつきましては、地元の方々、それから活用事業者のニーズを把握いたしまして、現地の校舎の建物調査などを実施して活用方針を検討いたしました。それから、令和6年2月に地元説明会を開催させていただきまして、それを受けまして今年度、6年度に事業者公募に向けたマーケットサウンディングを実施することといたしました。

以上が1-3のご説明になります。

○大橋課長 安全安心企画担当課長の大橋でございます。

私から、経営課題4の3つの項目について順にご説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、着座にて説明をさせていただきます。

それでは、恐れ入りますが、調査資料の11ページをご覧くださいようお願いいたします。

経営課題4-1、防災意識が高いまちでございます。シート左側に具体的取組（実績）を記載しております。

令和5年度の主な取組実績でございますが、地域主体の災害時の初期初動対応訓練を要配慮者支援を盛り込んだ形で8地域で実施し、また新大阪駅周辺地区帰宅困難者対策協議会を開催するほか、同駅周辺の一斉帰宅抑制に係る実地訓練を実施しております。そのほか、福祉避難所連絡会を開催、また災害時における福祉支援をテーマにしたオンライン併用講習会などを実施したところでございます。

続きまして、右側一番上、アウトカム指標の達成状況について、こちらは、17地域で実施す

る防災訓練や学習会を行う中で、令和3年度と比較しまして新たな人材やつながりが増えたと感じる地域の割合を令和8年度末までに17地域中17地域とする目標設定としておりまして、令和5年度実績といたしましては7地域で未達成でございました。

続きまして、右側中段の自己評価でございます。新型コロナ感染拡大による行動制限が解除されて取組を進めてきたところでございますが、活動活性化に必要となるリーダーの育成、担い手の確保の状況により、各地域での取組の進捗の度合いに濃淡があるため、防災訓練や学習会を行う中で、新たな人材やつながりが増えたと感じる地域数を目標とする数値まで増加させることはできなかつたとして自己評価しております。

一番下段の今後の方針についてでございますが、災害時の初期初動体制の構築のため、引き続き地域ごとの特性に応じまして防災訓練の実施支援を行うとともに、地域防災リーダー隊長連絡会におきまして各地域での防災訓練等の活動状況の共有、また能登半島に派遣されました区職員の体験等を組み入れた防災講座の開催等を通じまして、地域防災活動の重要性について啓発し、地域での防災活動の機運を醸成していくことなどを今後の方針としております。

続きまして、12ページをご覧くださいますようお願いいたします。

防犯意識が高いまちについてのページでございます。

具体的取組でございますが、令和5年度は犯罪抑止のため懸念箇所へ区の防犯カメラを新規に2台、また更新設置として5台設置しております。また、自転車盗被害防止のためのツールロック促進の啓発活動や夜間青色防犯パトロールの業務委託での実施等を実施してまいりました。

シート右側一番上のアウトカム指標の達成状況についてでございますが、区民アンケートで「地域が主体となり、警察、行政、企業等が連携して犯罪の抑止、防犯対策に向けた取組が進められている」と回答する人の割合、令和8年度末までに48.4%、令和3年度と比較しまして4.4ポイント以上の増加ということで目標設定をしておりますが、令和5年度実績としては39.6%ということで、未達成でございました。

続きまして、自己評価についてでございます。

令和5年度を取組を進めてきたところでございますが、活動活性化に必要となるリーダーの育成、担い手の確保の状況により、地域での防犯対策の取組度合いに濃淡があるため、地域での防犯活動に対する理解を目標とする数値まで促進することはできなかつたとして自己評価しております。

最後、右側下段の今後の方針でございますが、警察等と連携し、地域での犯罪情報の提供をきめ細かにいき、地域での防犯活動の機運を高めるとともに、SNS等を利用して犯罪の防止、防犯対策に向けた取組の広報をさらに進め、必要な取組を図示していくことを今後の方針としております。

続きまして、13ページをご覧くださいますようお願いいたします。

交通安全への意識が高いまちについての取組でございます。

具体的取組（実績）ですけれども、令和5年度は自転車利用のルール、マナー向上を目標とした安全教室を22回、各地域のニーズに合わせた高齢者、保護者、こどもに対する自転車ルールの普及啓発活動などを実施してまいりました。また、淡路、上新庄の各駅周辺において自転車利用適正化指導員を配置していたところでございます。

シート右側のアウトカム指標の達成状況についてでございますが、区民アンケートで「地域が主体となり、警察や行政、企業等と連携して交通安全に向けた取組が進められている」と回答する人の割合、令和8年度末までに45.1%にする目標設定に対しまして、令和5年度実績としては41.6%で未達成でございました。

続きまして、自己評価でございますが、活動活性化に必要となるリーダーの育成、担い手の確保の状況により、各地域の交通安全の取組度合いに濃淡があるため、目標とする数値まで促進することはできなかったとして評価をしております。

最後、右の下段、今後の方針でございますが、警察等と連携して、地域で交通安全に向けた取組が進められるよう支援するとともに、SNS等を利用し、地域での交通安全運動の普及啓発に向けた取組の広報をさらに進めることとして、今後の方針としております。

私からの経営課題4に関する説明は以上のおりでございます。

○宮本課長すみません。私からは経営課題5-1、5-2についてご説明させていただきます。

14ページ、5-1からご覧ください。

5-1につきましては、左側に取組実績があります。区政会議の運営と広聴広報についてということであります。

こちらについて、将来ビジョンで目指す状態というのはどういうものかということについてご説明しますと、この施策について多様な区民ニーズや意見を把握して適切に対応するとともに、区政に反映することで地域実情に応じた住民型の区政運営が行われていることを多くの区民が実感していくというものを目指した施策ということになっております。ここで具体的取組として行っておりますのが区政会議ということになっておりまして、こちらについては3回開催したんですが、1回不成立になってしまっている。それで、皆さんが広聴しやすいようにということで、今現在もそうなんですけれども、ユーチューブでのライブ配信というのを開始させていただいております。

もう一方で、広聴広報で市民の声という、市民の皆さんのご意見を伺うというものがありまして、こちらについては問合せとか要望とかいただいたものに対して14日以内で回答するというのが市民と市政の広聴ガイドラインというもので決まっております、そちらの目標14日以内を平均の回答で達成したという状況です。

であるんですが、右上のアウトカム指標の達成状況を見ていきますと、「区役所が様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる」と回答する人の割合というのが42.5%と、昨年度の43%を下回ってしまっているという状況です。それを受けまして、この成果については不成立になっている状況というのがありますので、まずはその対象を把握していきたいというふうに考えております。今年度については、また用語集を作成したりですとか、先日もさせていただいたんですが、学習会などを実施させていただいて、まず委員の皆さんも区役所への知識を深めていただいて、説明に充てる時間だけではなくて、意見を出す時間というものを確保させていただいて皆さんの満足度を高めていきたいというふうに考えております。

来年度運営方針では、出席率の課題もありますので、その目標というのにも提案していきたいというふうに考えております。

続きまして、次のページ、5-2をお願いいたします。

こちらにつきましては、情報発信の強化ということになります。目指すところは情報発信力の強化でして、こちらは、具体的な取組としましては、まずLINEの大阪市のアカウントによるセグメント配信というのが始まっておりまして、大阪市の公式LINEの中で東淀川区の分をセグメントとして配信することができるというもので、これは令和5年度での試行であります。始めさせていただいております。広報紙も皆さんに広げていきたいというのがあるんですが、個別配布というのを増やしていきたいというふうに思っておりまして、配架している広報紙などに個別配布の申込みの案内チラシというのを挟み込ませていただいて行き渡りやすいようにさせていただいておりますし、行政オンラインシステムというインターネットで申し込むことができるという取組も進めております。

それで、J:COMさんのところの協力でスマホ講座というのをやっておるんですけども、スマホを始めて使い方が分からないという方に講座をしていただいているんですが、その中でまた行政オンラインシステムはこういうふうに便利ですよというようなこともお伝えさせていただいて、普及に努めているという状況です。

こちらについても、右上の達成状況では「区のさまざまな取組に関する情報が伝えられていると感じる」と回答する人が37%と、昨年より下がっている状況になっております。もう一つ、フォロワー数につきましても40,386、昨年度の42,578より2,192名少なくなっているという状況です。ただ、このフォロワー数には新聞折込の広報紙というのが含まれておりまして、新聞部数減少がこの減少の主なものになっております。フォロワー数は2,192の減なんですけれども、新聞の減そのものが2,935ということで、700人ぐらいは新聞の減による減が上回っているという状況になっております。

今後は、広報紙の紙面の魅力アップというのはもちろんなんですけれども、新聞の折り込み

はどんどん無くなっていっていますので、個別配布申込みのアピールを強化していく、そういう形で情報を届けていきたいというように思っています。

また、SNSもありますので、SNSについてはフォロワー数のアップの可能性がかなりまだあるかなという部分のLINEの市公式アカウント、こちらのセグメント配信をより活用していくことによって、さらに、タイムリーな情報をお届けすることによって登録者数が増えるということを進めていくというふうに考えております。

私からは以上です。

○船倉課長 窓口サービス課保険年金担当課長をしております船倉です。

私からは、経営課題5-3について説明をさせていただきます。着席させていただきます。

経営課題5-3、快適・迅速・確実な窓口サービスということで、左側、具体的取組（実績）といたしましては、窓口混雑の緩和、コンビニなどを利用していただくことによって混雑を緩和するという取組があります。あとは窓口業務委託、そして窓口サービスの向上ということで、少しでも快適に皆様、区役所での用事を済ませていただけるように取組を実施しました。

右側、アウトカム指標の達成状況なのですけれども、マイナンバーカードの交付件数の増、年間1万件の増を行い、令和8年度末までにコンビニ交付の件数の増、証明発行件数の30%以上を図るというものにつきましては、コンビニ交付の件数の増につきましては目標を達成したものの、マイナンバーカードの交付の増というのは令和4年度が大きく下回った状況で、未達成となっております。

次、委託事業者による市民満足度アンケートにつきましては令和5年度好調、好評のまま推移しておりまして、こちらはA、達成となっております。

自己評価についてなんですけれども、マイナンバーカードにつきましては令和5年、昨年9月末をもってポイント付与が終了しましたのととも申請の件数、交付件数が激減いたしまして、令和4年度の36,477件を大きく下回って19,461件となってしまいました。

今後なんですけれども、マイナンバーカードを増やしていくというのを達成するために、コンビニに置いておりますと同様の行政キオスク端末というのですけれども、端末を実際に区役所の待合に設置して案内人を配置するなどしながら、マイナンバーカードの利便性を区民の方にご理解いただくことによって利活用を促進し、そしてそれを利用促進につなげていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

私からは以上でございます。

○奥野課長 総務課長の奥野でございます。私からは、経営課題5-4、区民の役に立つ区役所を担う職員づくりについて説明をいたします。

資料の17ページをご覧くださいませようよろしくお願いいたします。

取組実績といたしましては、記載のとおり、区民から信頼され区民の信託に応える組織風土

をつくるため、全職員に対してコンプライアンス研修や個人情報保護研修等を実施するとともに、5S活動や標準化の実践、外部講師を招いた接遇マナーアップ研修の実施、上司が組織目標を共有し部下の役割を明確にするような人材育成につながる取組を実施いたしました。

次に、アウトカム指標の達成状況といたしまして、東淀川区の発展のために尽力したい、東淀川区を今以上によくしていきたいと思う職員の割合を令和8年度末まで毎年度90%以上維持することを目標として設定しており、令和5年度も職員アンケートの結果、93.8%を維持し達成しております。

以上で説明を終わらせていただきます。

○宇田議長 ありがとうございます。

では、ただいまご説明いただいた内容を踏まえまして、令和5年度東淀川区運営方針自己評価につきまして皆様からご意見をいただきたく存じます。

内容について、より活発に議論いただくために、この後、一旦部会を休会し、2グループに分かれてワークショップによる意見交換をしていただきたいと思います。

それでは、ここで区政会議安全・安心・まちづくり部会を一時休会させていただきます。20時25分頃に再開しますので、よろしくお願いいたします。

(休 会)

○宇田議長 それでは、お時間が来ましたので部会を再開します。

それでは、A班は私から発表させていただきます。

経営課題1について、地域活動協議会の学習会の開催をしたと書いてあったんですけども、私も出席をさせていただいていましたけれども、各地域、17地域あるんですけども、8地域ぐらいの地域の方しか参加されていない現状なんで、その辺の出席率を上げるにはどうしたらいいかというのを検討課題として上げさせていただいています。町会や住民が多く関われる訓練や防災学習を継続して行えるように、こども連れで参加できるような防災訓練を実施してほしい。町内会員が高齢化で担い手が少ないという地域が今後町会と成り立っていくのかという懸念、町会でのお手伝いをされている方々は地活協という組織について知らない人がほとんどで、何のためにやっておられるかというのはまだまだ知名度が低い。

経営課題1-2では、地域活動の中に学生のボランティアが入ってくれるので活動ができたという意見。それと、みらいEXPOについて、できる限り今後も続けて開催してほしい。大学生と連携し、市民の地域的に歴史を認識するまでの地域の活性化につなげる。アンケートの効率が低いのはアンケートの記述内容に問題があるのでは。見直したらどうか。個々の情報、区民の生活、関連が記述では実態が見えにくいのではないかな。それと、これは私の意見なんですけれども、区役所全体でやって、一応地域課さんから組み立てて事業とかは多分出されている部分が多いんですけども、区役所の各課で共有意識が薄いのではないかな。今年度ありまし

た新歓祭につきましても地域課以外の方々に情報がほとんど流れていない状態だったので、区全体で盛り上げるには、ほかの課ともっと共有しながら参加してほしいという気がしています。

それと、西部まちづくりに関しては、浄水場の開発地の進捗状況、資料等の提供が欲しい。

次に、跡地利用についてですけれども、防災面で、あるいは地域の人々が集える場所の要素必ず入れてほしいということです。

それと、4はちょっと後に回します。

5ですけれども、5-1、区政委員の出席率の問題、区政会議のときに出席理由の一応アンケートとか取られるんですけれども、やっぱり出席率が低いということで、委員さんへの希望ですね、出てほしいということで。梅田さんも同じで、参加しやすい曜日、時間帯の検討をしてほしい。このところ、多分区政会議を開く前に一応出席できる人という形で区役所さんも新たに考えられていると思うんですけれども、今日も当日欠席とかという方も出られるので、一応今後、この出席率を上げるかどうかというのも課題の一つだと思います。

東淀川区は、他区と比較して区政会議の不成立の頻度が多い。これは区政委員の資質による問題なのか、もしくは選定の際に地域からの代表で、名前だけでもいいからというところ選ばれている方もいるのではないかという不安もあります。非公開の学習会では質疑があり、本会の部会での非公開のワークショップでの会議は区民のためになるのか。部会、本会が不成立な場合でも、議会があるから議事録を作成されることに不合理はないという点でございます。

5-2ですけれども、フェイスブックでの案内開催は大部分に発信されているんですが、当日の様子が分かるようなとか、後日の発信がほとんど今できていない状態ではないか。スマホ講座などは数多くの方が望まれると思う。新聞減の流れは広報紙への影響を感じた、ネット配信の検討はどうか。それと、天王寺動物園の広報紙は広告が半分以上載っているということの一つの情報として教えていただいています。マイナカードの市民に伝えている効果が出ないので、使用料が税である認識をしてもらいたい。交付率がそろそろ頭打ちになるから経営課題の内容変更を考えてもいいのではないかと。

5-4ですけれども、職員の6%から7%は今以上によくしていきたいと思わないとはどうということなのか。それとも現状に満足しているのか。なぜこのアウトカム指標なのか、気持ちが悪く不正確になっているかどうか、その辺が詳しく知りたいということです。

経営課題4につきまして、防災の高い意識、この間、これは私の意見なんですけれども、西淡路小学校の防災備蓄倉庫に入る機会があったんですけれども、期限切れの食品が多数見られる。それと、期限の短い商品が建物の奥に固まって置かれていたというのが現状なんで、これ、食品の入替えとかは多分、区役所か業者に委託されているか、その辺がちょっと分からないんですけれども、その辺の改善というのもお願いします。

消防車が入れない道がある現状で、地域では消防訓練も行っているのかどうか、その辺が疑

問である。この取組を、現在状況を行政と区民、市民で共有する必要がある。学習会での質問のうちから、吹田、摂津との大阪市との隣接自治体との連携が必要であると感じる。これに関しては、吹田市は地域協定が結ばれているというのをお聞きしていますので、摂津市がどうなのかはまだ分からないのでご回答をお願いします。

能登半島地震で職員さんが派遣された方がおると聞くが、発生時に職員さんが動けるかどうか気になるということで気遣いをされております。大阪市防災アプリのPRを広げれば良いという、地域での避難訓練を定期的に行っている。

防犯意識の高いまち、4-2ですが、防犯カメラの新規設置分よりオンラインにして映像が管理できているか、システムを行っているかどうか、これも先ほどご回答のお話、聞かせていただいたんですけども、新しいのは全てWi-Fiで設置で管理ができているということなんですけれども、各町会とか地域にある防犯カメラはいまだにUSBでやっているんで、その辺の管理の仕方は今のところ各町会さんで行っていると思いますので、その辺は地域活動協議会に連絡していただいて予算取りはできますので、その辺は各町会さんでご検討できると思います。

青色防犯パトロールの講習会がコロナの影響で行われることが少なくなって、また、高齢化が進んだおかげで地域の負担の増大があるという現状において、区役所としてどのように対策していくのか。地域でカメラを維持できないということで、つけてほしいというのがありますけれども、直接お話をこれはさせていただきます。

外国人が増加して、日本の交通文化を学ぶために外国語での案内活動をしてはどうか。道路を整備して自転車レーンを造ってほしい。淡路駅周辺は駐輪場の整備も必要である。例が出されたのは、高槻が新しい道路になっていますけれども、大阪市は歩道を広くして自転車と共有させている歩道はあるんですけれども、高槻の場合は別レーンでされているということです。

以上です。

続きまして、Bグループです。

○高倉委員 誰もいないのでやらせていただきます。

時間も押しておるので、ポイントで説明をさせていただきます。

まず、我々1番目に取り組んだのが4-1、4-2、4-3の課題でございます。特に、防災意識の高いまちということで、私自身も防災リーダーの会長をしていますので、地域課とは連携を取りながら次年度というか昨年、防災訓練を実施した実績がございます。コロナでやっぱり休止していた状態なんで、一からやり直しをということで始めたんですが、特に、みんなの意見でいうと、まず福祉避難所、特に障害者及び高齢者に向けての避難所のありようということで、地域でのそういう避難所の設定、それと受入れの体制、特にそういう人を支援していかなくちゃいけないので、そういう人員をどういうふうに確保していくかと。だから、1人の障害者が

いてたらやはり2人ぐらいが必ず必要になってきますので、そういう人たちの体制づくり、それと、特に支援した、訓練した地域はつながりが増えたと感じているので、より支援の強化が必要ということで、私も実感したんですが、繰り返すことで身につくということではないんやけれども、当たり前、普通にしていこうということが重要なんで、去年実施したからそれで終わりということではなくて、経年的に続けていかなあかんというふうに思っています。

そういうことで、やはりかなり時間と人が必要になってきます。当然、私とこの町会で言えば10年かかって一回りするような状態になるというふうに思っていますので、全員に防災意識を持たせるというのはなかなか難しい話かなと。それと、やはりイベントが意識を高めるということで、区民まつりもあるんですけども、そういう防災の日というものを設定して、880万訓練というのがあるわけで、その派生で区の防災の日というものを設定してイベントとかして、全地域でやはり一斉の防災訓練をやるというような、そういうことも今後考えていかなあかんの違うかなというふうに意見が出ております。

それと、私も防災リーダーの隊長をしているんですけども、やはり高齢化しています。ということで、災害のときに本当に役立つかなとということで、交代するいわゆる人材の育成ということで大きな課題かなというふうに思っています。

次に、今ちょうど暑くて、涼みスポットというのが話題になっていますけれども、この辺は区役所を含めて出来上がっているんですか、PRが。

○古川課長 ホームページでは発信しています。

○高倉委員 ということなんで、そういう意見が出ているということでございます。ただ、スーパーであるとかいろいろの施設があると思うんですけども、そういうところとも連携を取りながらスポットを増やしてもらいたいなというふうに思います。

それと、防犯意識の高いまちということで4-2ですけども、青パトというのがあるんですけども、それだけではなくて、ながらパトロールという考え方で、買物、それとランニングしているときにそういうパトロールをすると。やはり人の目というのはいわゆる悪いことをしようとする人たちは一番気にするわけで、そういうことで、私も見知らぬ人が地区内に入ってきたらちょっと見るようなことをしています。そういうことで意識を高めていくというか、防犯の意識を持つと。それとSNSを利用した広報活動、こういうことも必要かなと思うんですけども、SNSだけではなくて、やはり高齢者に向かっては見守りのついてにお話をしていくということも必要やと思います。

それと、やはり今防犯カメラというのがかなり有効で、監視的、抑止的な効果を出しているということで、この辺も、先ほどAチームでも出ましたように、増設ということを推進していくことが重要というふうに思っています。

それと、交通安全への意識が高いまちということで、メンバーの仲宗根さんからもやはり非

常にマナーが悪いということで、特に私ら気づくんですけれども、若い人たちの自転車、チャリコ、こういうものに関して学校から教育すると、やはり日々そういう自転車のいわゆる乗り方学習みたいなものをしていかなあかんのではないかなと。逆行も私も時折するんですけれども、逆行したりとか無灯火で走るとか、そういうことで非常に交通事故の起因になりますので、こういうことを進めていく必要があるということでございます。

今、交通指導員というのはあるんですか。昔は何かそんな言葉を聞いたことがあるんですけれども、そういう人を、先ほどの防災のリーダーと同じようにそういう役割を持った人員というものを配置する必要があるのではないかとということでございます。

以上が4のテーマでございます。

次に、1-3のところでございますけれども、地活については、やはり福祉・防災事例発表、ワークショップを続けたらと、続けてくださいということなんですけれども、そういうことで、どういう地域がどういう活動をしているかということを知ることがやはり刺激になると思うんで、我が地域は形骸化しているんで、そういうことを打破するためにそういうことが必要かなと。

それと、にぎわいのある元気なまちということであると、私とこの地活も今度のイベントで使うんですけれども、景観のいわゆるボランティアさん、こういうものを活用して、若い人たちの力を借りて進めていくということも必要ではないかなと。それと、区民まつりの場所、人数を考えると小さな場所じゃないかと感じたということで、正直、区民まつりというのは非常にこのいわゆる役所近辺の地域で行われるんですけれども、我が西淡路、西からやとかなり距離があって、参加しない。昔はこのこぶし通りでパレードしたときには私もだんじり引っ張ってここまで来て、道すがらそういうことをしていくということで地域参加のイメージがあったんですけれども、今はイベントの内容が変わったんで、やはり不参加のところが多いというふうに思っています。この辺も新たな取組として企画していく必要があるのではないかと。

特に、にぎわいのある元気なまちで町会加入の促進ということを上げておられたんですけれども、私も同感というのを実感しております。年々世帯数が減っているということで、やはり何をするにしても人、物、金ということであると、人と金がないのでいろいろな取組ができないということであると、そういうものを加入促進する方法、この辺を役所さんと一緒になりながら検討していかならんの違うかなと。やはり地域にその必要性を感じてもらおうということであると、地域愛みたいなものを据えていくことが必要ではないかと。私なんかはもうこの地域に60年いてますけれども、そういう長い年月、特に私の町会でしているのは、借家に入ってこられた方よりもいわゆる建て売りを買って入ってこられた方、分譲のマンションにおられるような人で長くそこに住もうという意思を持った人たち、そういう人たちを今勧誘しているわけなんですけれども、なかなかうまく新しい人が入ってこないということなので、やはり世帯数も

減っていますんで、町会というのがかなり力がなくなってきたのかなというふうに危惧しております。

それと、西部のところでございますけれども、アウトカム指標はこれでよいのかというところで、何が変わるんやと、西部が。結構、もと西淡路小学校も含めて中止した施設が多うございます。ということでいうと、東よりも西のいわゆる役割というのがない、いわゆる施設がないということも一つ起因しているのかなというふうに思います。

次に、区政会議、やはり非常に参加率というか出席率を増やしていかなあかんということもあるんですけども、区政会議、それと区政委員のアピールを増やしていくと、広報紙で。そういうことも一つ提案として上がっております。

広報紙については、学校や警察、各組織にも読んでもらうようにすればどうかというふうな意見もございました。

あと、証明書はとてもよいと思います。利用させていただいています。私も、マイナンバーカードで住民票を取ったりとかいうようなこともできますので、非常に便利に使っておるんです。ただ、やはり報道されているように悪用されてしまうという不安があるので、何かにつけて自分も財布の中には入れていないんですけども、やはりちょっと気になるなというところがございます。

それと、やはり窓口の問題ということで、今、派遣会社というか、委託されていますよね。ということで、一遍私もお叱りをしたんですけども、対応がまずいというか、ちょっと紋切り型になって、それで私もこの間、国民健康保険の申請をしたんですけども、やはり紋切り型になっちゃうんですよね、いわゆる派遣さんが自分の仕事をするということで。ちょっとその辺が心が籠もってないなというふうに思いますので、この辺もよろしく願いしたいなと。

区民の役立つ区役所を担う職員づくりということで、我々からして特に付き合いがあるのが地域課でございます。だから、防災の関係でいえば大橋課長のところなんかはいろいろお世話になっているんですけども、やはり人員が十分にあるかなというふうに思っていて、その辺親身にしていただけるんですけども、アウトソーシングでなくて、私もタナカさんと同じで防災士を持っているんですけども、大橋課長にもいわゆる地域の防災士を活用した防災活動、そういうこともあるかなと。そういうことも含めて、いろいろ外野の勢力をうまく使っていく方法というのもあると思うんで、そういうこともぜひご検討いただければというふうに思います。

ちょっと長くなりましたけれども、以上でございます。

○宇田議長 ありがとうございます。

それでは、区役所から対応等ございましたらお願いします。

○古川課長 皆さん、活発なご議論ありがとうございます。

時間が押しているんですけれども、少し返せるものは回答させていただきたいと思うんですけれども、たくさんのご意見なので全てを網羅することができませんので、後日、対応方針についてはまとめて委員の皆様にはご提供させていただきたいと思います。

私からは経営課題1に関しまして、地活協の学習会の参加率が悪いということで、地域活動をされている方は皆さんお忙しい中で平日の夜間で開催をしてみたいところなんですけれども、委員のご意見にもあったように、17地域ある中で半分ぐらいにとどまっているところがございます。今ちょっと別ではあるんですけれども、中学生以上を対象としましたインターネットアンケートで地域活動に参加しやすい時間帯とかというのもアンケート調査を区役所で進めておるところなので、そんな中身も参考にしながら、今後たくさんの方に参加いただけるような学習会というものをつくってまいりたいと思います。

それから、町会単位で担い手も少なくなっていって地活協の成り行きが不安だというようなご意見があったかと思います。B班のところでのご意見であった町会加入のこともつながるかと思うんですけれども、今現在、区役所で町会加入促進に取り組むことで、今、地域の声を聞きながら町会の皆さんと一緒に取組を進めてまいりたいと思いますので、またその状況等は発信させていただければなと思っております。

それから、みらいEXPOの継続開催であったりみらいEXPOの新歓祭というので区役所職員が少ないのではないかというご意見もあったんですけれども、地域の皆さんに東淀川をよく分かっていたくというための企画ではあるんですけれども、おっしゃるとおり、職員が東淀川区をよくするという意味では、職場を離れてオンとオフの東淀川を知ること大切だと思いますので、各課の情報共有も進めますとともに、地域情報を共有できる場づくりについては引き続き取組を進めたいと思います。

それから、特に区民まつりの場所ということでご意見もいただきました。なかなか道路を封鎖してこれまでのようにパレードをするということにはならないんですけれども、今年度、10月14日の祝日ですけれども、区民まつりを開催する予定をしております。今年は、4階の子育てプラザが月曜日ということでお休みになりますので、その場所も借りたり、道路向かいの民間事業者にも場所を提供していただいて、少しだけなんですけれども広く開催できるかなと思っておりますので、ぜひご参加いただきたいと思います。

それから、1-3のところでもと西淡路小学校のことになってくるんですけれども、跡地利用で防災面、地域活動の場をとというご意見があったかと思います。これから市場調査ということでマーケットサウンディングということで、民間事業者にもご意見を聞く場を設けていくんですけれども、その中で防災機能を確保するとか地域全体のコミュニティーを確保するというのを条件つけた形で、土地を売却することなく民間事業者に貸付けできる状態で事業者からの意見募集をさせていただこうと思っておりますので、このもと西淡路小学校の跡地の活用

つきましては、区役所のホームページで発信もしております。また区政会議のこの場でも随時情報提供させていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

ちょっと雑駁になりましたけれども、最初の経営課題1－1は以上です。

○大橋課長 安全安心企画担当課長の大橋でございます。

課題4の安全・安心のまちについて2つご意見をいただきましてありがとうございました。

全てお答えできないので、ポイントというか、あっこれはというのだけちょっとピックアップをさせていただいて、また後日、文書で回答ということをお願いいたします。

まず、自転車が通れない通路が多数あると思うんですが、そういうところで防災訓練はできないんでしょうかというご質問をいただいております、実は私もこれ、物すごい危機感を持ってしまして、阪神の地震のときからそうなんですけれども、阪神・淡路の地震のとき、幅員が4メートルから6メートルの道路で人も通れなくなった道の割合が63%なんです。それは私、地域でお話しさせていただく時間があつたらそれはもう強調するようにしております。

そういうことで、訓練では去年で初期初動訓練ができたのは8地域で、あと自主的に取組をしている地域も具体的に11地域の状況です。今でやっと半分ちょっとを超えたぐらいですので、そのような訓練をデータとして防災の講座をやっていただいて、補足させていただいてワークショップと重ならない訓練につなげていくという形で今持ってきていますので、少しでも広げていきたいと思っております。取組を進めてまいります。

あと、西淡路小の備蓄物資、ちょっと担当に確認をさせていただいて、また回答させていただきます。

隣接の吹田、摂津の自治体との連携なんです、摂津市も連携協定を締結しております。ただ、地域が隣接地域だけですので、東で言ったら東井高野地域になっています。摂津市はその隣接する地域名がぱっと出てこないんです。その両地域の間は、災害時避難所はどちらへ行っても構いませんという形での協定を結んでおります。

自治体間のそういう自治体を越えた連携ですね。吹田市、摂津市とも話を聞いてみたいと思っております。

防犯カメラなんです、オンラインにして映像がリアルタイムで把握できるようなシステムはどうかというご意見をいただいております。これ、ご意見いただいているんですが、個人情報の関係がございますので、常にご住所関係をさらした形で防犯カメラの情報を流すというのは、いろいろご意見を聞いているんですけれども今のところはちょっと現実的でないというふうに捉えております。ただ、区役所は基本的にはWi-Fi、機器を下のところへ持って行って、そこで無線で情報を見るという形でやっています。

自転車のやつ、子どもたちの自転車マナーが悪い、役所からマナーを一月に1回教えてほしいというご意見をいただきまして、現状は小学校3年生、4年生を対象にした自転車安全教室

というのを開催しております。年度当初に校長会に参加させていただいてやっておりますので、お声掛け下さいと私、言っているんですけども、現状、今では半分いかないぐらいです。さらにそういう講習ができるように取り組んでいきたいと思っております。

今ほとんど1割ぐらいしか回答できていないんですけども、これで終わらせていただきます。

○宮本課長 すみません。かなりお時間が押してしまっておりますので、私から簡単にお答えさせていただきます。

区政会議の運営について皆さん大変ご心配いただいております、ありがとうございます。そこで、実はアンケートをいつもより多くの質問をお願いしています。というのは、運営をどういうふうに改善したら出席率が上がるのか検証したいということでアンケートをお願いしている、皆さん、今回アンケートをお願いしていますので、できるだけ忌憚のないご意見をいただいて、出席していただけない方もちょっとおられるので、そういう方にもご意見いただいて運営を工夫していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

あと、広報紙はSNSとかネットで配信してはというご意見があったと思うんですけども、実は毎月1日にLINEとXで広報紙をお知らせさせていただいていて、ホームページに載っていますので、ネットにつながるようになっていきます。さらにユーチューブで、1日じゃないく、少し遅れるんですけども、住みます芸人の福人さんが広報紙のPRをユーチューブでいただいておりますので、それもご覧いただければと思います。

私からは以上です。

○船倉課長 私から、保険年金担当についてでございます。委託について、紋切り型のご案内にならないようにというのは真摯に受け止めまして改善してまいりたいと思っております。

マイナンバーカードのキャラクター使用につきましては、市民局が主に契約などしておりますので、いただいた問題も持ち帰らせていただいて、また折り返しお返事をさせていただきます。

マイナンバーの交付数についてなんですけれども、その後も伸びていきまして6年6月末現在で77%の方にお待ちをいただいておりますので、交付は大きく伸びるのは難しいですが、持っていただいている方に便利にお使いいただいて、その利便性を皆様に分かっていただき、携帯電話、スマートフォンなどのようにじりじりと増やしていけたらと感じております。どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○宇田議長 ありがとうございます。

ご出席の議員のご意見ございましたらよろしくお願い致します。

○森議員 公明党、大阪市会の森です。遅くまでお疲れさまでございます。

委員の皆様、職員の皆様におかれましては、本当に連日、区政のために尽力いただきまして本当にありがとうございます。

今日のご意見をしっかり私も市会に持っていきまして、少しでもお役に立てるように頑張っ
てまいりたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

○石川議員 大阪市会議員、自民党の石川博紀です。

冒頭、区役所宮本課長から説明がありましたけれども、予算に関わるスケジュールと。今日ここで皆さんに伺ったことが8月の区役所の中での検討課題事項を共有する中で、区役所としても予算の案をつくって大阪市全体として11月、12月にそれが固まっていくというような話になりました。本日は安全・安心・まちづくり部会ということで、そのことに関連するちょっとご報告を議会側からさせていただければということなのですが、今日も道路の安全の話がありましたけれども、実はこの予算と同じようにのせて、僕ら大阪市会議員東淀川選出5名いるんですけれども、5人の市会議員が各学校を見回しまして、学校の施設として危険な箇所がないか学校側からの要望を聞いて、その上で5人連名でこの案を予算にのせるというような流れを毎年やっています。

昨年の8月に東中島の啓発小学校、中島中学校、むくのき学園のところで、学校の施設ではなく、その外側の通学路に関わることだったんですけれども、北側の歩道が狭いと。実際に測ってみましたら大阪市の基準の道路の幅よりも狭いというのが確認できたんですけれども、雨のときに子どもたちが傘を差すと擦れ違えない。その結果、子どもたちが道路上に、車道上に下りて行き来するんだと、危ないから何とかしてくれないかと。これは植木が実は広い幅を占めていまして、木を刈れば歩道の幅が十二分に確保できる。それほど難しい話ではないなど。かつ子どもたちの安全の側のところを選んでというところで、5人連名で建設局、道路の管理に区役所を通じて上げてもらった上で、今年度どうなったかといいますと、もう梅雨を過ぎましたけれども、梅雨の時期を迎えても全然工事がされることになってなくて、学校に聞いたらどうなってるんですかねと学校も当然お怒りで、道路を管轄する工営所に聞きましたら、簡単に言えば忘れてましたというようなことがありまして、工営所長のところに行きまして、おかしいと、議会側から5人連名で話を上げたのにどうして進んでないんやということで話をしましたところ、今年、何年かに1回、皆さん地域で小学校に交通安全プログラムが回ってくるかと思えますけれども、今年交通安全プログラムが回ってくると、地域と警察とPTAと学校で話をして子どもたちの通学路を確認するんだと、その当たり年になっているので、来年度、その話を聞いた上でやりますから勘弁してくれませんかという話をされたんです。

これは今日の話聞きますと、交通安全の意識が高いまちと、地域が主体となり交通安全についての取組やという点においてはその手法もいいのかもしれないですけれども、何より子どもたちの安全ですから、気づいた人が言って改善されていけば済む話です。僕ら議員が気づい

たんですが、それが進んでなかったのも、実は今年の8月に向けてそこの学校へ見に行きましようかという意見をするために、5人集まりまして先週、会議を開いたんです。できればその場所に工営所長を呼んで、何で今年進んでないのか一遍話を聞こうということで、この場に森慶吾議員と、今日は来ていないですけどもますもとさおり議員に話を持っていきまして、そしたらぜひ呼びましようということにはなったんですが、今日出席しておりませんのであえて名前は出しませんが、呼ばんでいい、来年やることになってるからいいん違いますかということで、さらには、10月の次の会議のときに聞いたらええん違いますかということで、呼ばないということになりました。もう皆さんお分かりかと思えますけれども、10月に話を聞くでは遅いんです。今日皆さんがここで出した意見がしっかりと区役所に、各地域のお話があったかと思えます。伝わった上で、次の予算にのるようにならば皆様方にしっかりと見守って、確認を来年度に向けてしていただきたいのととも、今お話ししたように、交通安全は東淀川区役所の目標として掲げていますから、地域が主体となりというところですので、ぜひとも地域の皆様方でしっかりと、議会がこの体たらくですが、地域の皆様方に声を上げていただきますようお願いを申し上げておきます。

出席率の話がありましたけれども、答えは区役所から時間がおしてありますけれども、できる限り出していただいたということで、今日参加して答えが返ってきて地元を持って帰ってよかったなと思われた方が少しでもいれば幸いかなと思うところでございます。

ほかにも、青少年指導員のスポーツ大会、もと西淡路小学校の敷地を使えるかどこに聞いたらいいですかというような質問もありましたけれども、これまたすぐにもこの後、質問のあった委員に答えていただければ、そういったことを通じて、区政会議に出てよかった、次も参加しようと、どうしてもお仕事の都合もあるかとは思いますが、そういった場になっていただけたらなと思うところでございます。

もう一点だけ、淡路駅の自転車の駐輪場が必要というご意見がございました。淡路駅の駐輪場、新大阪駅の駐輪場、大阪市の見解としては土地がないということで、市民の声の答えと思っているんですけども、実は阪急淡路駅、また4年の遅れが発表された後ではあります、1個前の計画では来年度の春に完成される予定で駅舎はぼちぼちできつつあります。もし駅舎が先にできたのであれば駐輪場もその中に確保されるべきでないかということ、今度、8月に区役所と建設局と阪急電鉄とで今後の検討の話し合う場があるということですので、もうしばらくお待ちいただくことにはなりますけれども、もしそれで駅舎に駐輪場がかなわないということであれば、歌島豊里線という阪急の高架の完成を待って東淡路と西淡路を横断していく道路の予定地に真ん中、ガードレールでくくられた場所が広く空いていますので、そこを駐輪場にするようにということで提案をしております、もうしばらくお待ちいただけたらと思います。

私から以上でございます。次回、本会は都合で欠席となりますけれども、またライブ配信で皆様方のご意見を聞かせていただけたらと思いますので、どうぞ今後ともよろしく願いをいたします。ありがとうございました。

○横道議員 公明党大阪府議会議員の横道淳子でございます。本日は皆様、大変お疲れのところ遅くまで区民のためにありがとうございました。

非常にたくさんの意見が出されたと思いますので、ぜひ、また出た課題、ヒントもありました。区政につなげていっていただけて、がっしりと届けていっていただきたいと思います。私もこの会議に参加して大変勉強になりましたし、また府政へつないでいけたらと思っております。

区政委員の皆様には、各地域で事前にお話を聞いて、まとめて今日集われた方がいらっしやると思いますし、皆さんそうだと思いますが、ただ、今日出た意見をまた地域へ持ち帰って広めていっていただけて、集まって話し合いをされることを私は願っております。

まだまだ暑い日が続きますので、皆様どうぞ体には注意していただけて、これからも地域活動にご尽力いただけますようよろしくお願いします。本日はありがとうございました。

○笹川議員 すみません、お疲れさまです。大阪府議会の笹川ですけれども、遅くまで本当にありがとうございます。

今日出ましたご意見、ぜひ区役所の方でしっかりと返していただきたいなと思います。先ほど石川議員が言いましたように、今日の意見がまさに令和7年度東淀川区政の運営方針に反映されるようにしていただきたいですが、今日いろんなスケジュール案が出ておりますけれども、ちょっと行政的になるかなと思われて、令和6年度、要は今の運営方針、じゃあ運営委員の皆さんがいつ見るのかというのが完全に抜け落ちています。去年のこと、来年のことがメインとなっているスケジュールなので、ちょっと1年のブランク、議会で議員側としては行政の流れ分かっているのでもうそうなるだろうと思うんですが、区民の考え方で言うとそれっておかしくってですね。今やっている施策の今のよしあしを含めて来年どうするかを決められているので、そのあたりもうちょっと説明が必要なんじゃないかなというふうに思っております。

また、ちょっとごめんなさい、大阪府のことで防災に関して1点情報提供させていただきます。今年の9月3日に880万人訓練があります。この訓練は、今年は午後3時に地震が発生、その3分後に大津波警報が出たという想定での防災訓練ですけれども、今年から区の防災訓練に参加をいただける個人、団体、企業様が事前に大阪府でホームページに登録をいただけたら、訓練に参加した証の参加認定証というものの発行するということになりました。ですので、今日地域の団体の皆さん方から代表して来ていただいている委員の方もいらっしやいますので、地域で参加するということで登録をいただければ非常にありがたいなと思いますし、各個人の登録というものも可能となっておりますので、ぜひ登録をしていただきたいなと思います。

また、訓練の好事例というものも大阪府のホームページに掲載をいたしておりますので、いろんな地域の防災訓練の内容を書いておりますので、ぜひそれをご参考にいただきたいというふうに、この東淀川区の地域でも、ある地域では警察、消防、自衛隊、幼稚園、小学校、地域団体、これら全て参加者、防災訓練を行っているところもありますので、こういった好事例を参考にさせていただいて、それぞれの地域の防災力を高めていただきたいなというふうに思います。

ぜひ、今日の意見に出たものが本会で、ちょっとこれまで少なかったもので、本会で発表前になっていましたけれども、そうではなくて、今日出た意見をどう区役所が反映するのか、そしてその反映がちょっと不十分じゃないかというような議論や、またはよくこれは反映されててありがたいという意見、これらが議論の段階で行われるように工夫した運営を行っていただきたいなというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

今日も本当に遅くまでありがとうございました。

○宇田議長 ありがとうございました。

本日いただいたご意見は、8月21日予定の本会にてご報告申し上げます。

次に、議題2、その他について区役所から説明をお願いします。

○宮本課長 すみません。先ほどもご説明させていただきましたアンケートのお願いです。

このアンケートというのは、実は前半の1、2番につきましては区長会議からの義務的にこうやらないといけないというアンケートになっていまして、100%の回答を求められることとなりますので、ぜひ回答をお願いいたします。

3番以降につきましては、さっきお話ししましたように今後の区政会議の運営についてご意見いただきたいということなので、こちらについてもご回答をお願いいたします。

次の本会までにお持ちいただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。

○宇田議長 本日の部会の議事は以上になります。皆様ありがとうございました。これからは進行を事務局にお返しします。

○山本係長 ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

本日回答できなかった内容につきましては、本会までに意見と対応一覧で回答させていただきますので、ご承知おきください。よろしくをお願いします。

それでは、これをもちまして令和6年度東淀川区区政会議第1回安全・安心・まちづくり部会を閉会いたします。お忘れ物のないよう、お気をつけてお帰りください。

区政会議のアンケートは会場出口で回収させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。